



対し、コンバインやドローン等の農業機械の導入（補助率：1／2）、ニーズ調査、専門人材の育成（例：ドローン講習の受講）等（補助率：定額）を幅広く支援する事業を公募中です（申請期限5月20日）。なお、申請書類は事前に確認機関の確認を受ける必要がありますのでご注意ください（※）。（今回の公募以降も、予算残があれば公募を行いますので、適宜ホームページをご確認ください。）

農業支援サービス事業者は、農業分野とは直接関係のない事業者もなることが可能です（例：建設業者等。個人・法人も問いません）。

普及指導員の皆様におかれては、この機会に、管内の事業者幅広くご紹介いただき、農業現場の人手不足の解消等に役立つ農業支援サービスの推進にご協力をお願いいたします。

※書類等確認機関への提出期限 4月28日（又は21日）

書類等確認機関にご確認ください。

（一社）農林水産航空・農業支援サービス協会（外部リンク）：<https://j3a.or.jp>

▼詳細はこちら

農業支援サービス関係情報：

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>

事業の公募情報等：

[https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/260313\\_140-2.html](https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/260313_140-2.html)

▼お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

（担当：サービスユニット）（03-6744-2107）

=====

◆スマート農業技術の導入や横展開等を支援する「スマ転事業」の要望調査を実施中です！

=====

農林水産省では、令和7年度補正予算において、労働生産性の高い農業構造への転換に向けて、スマート農業技術の現場導入とその効果を高める栽培体系への転換の取組や、当該取組の横展開のための展示ほ場の設置等を支援する、「スマ転事業（正式名称：スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業）」を措置しました。

#### 1 スマート技術体系転換加速化支援

スマート農業技術の導入とその効果を高める栽培体系への転換を一体的に実施する取組に必要な機械導入費等を支援します。

現在、都道府県を通じて要望調査を実施中ですので、スマート農業技術の導入にご関心のある農業者の方に周知をお願いいたします。

#### 2 全国推進事業

今年度は、（一社）全国農業改良普及支援協会が採択され、展示ほ場の設置や農業者向けの講習会の開催等、スマート農業技術の横展開の取組を行う産地

等の募集を行う予定ですので、案内があった際は、積極的にご活用ください。

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/sumaten.html>

また、先般普及指導員の方に向けて開催した「スマ転事業活用に向けたスマ農法計画認定の指導力向上セミナー」のアーカイブ動画を公開しました。

スマ転事業やスマ農法計画認定について説明されていますので、当日参加できなかった方や、説明をもう一度聞きたい方など、皆様ぜひご覧ください。

▼詳細はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=X133DK2kwZU>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

(担当:宮永、中村、鹿嶋)(03-6744-2107)

++・…… 病害虫発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和7年度 病害虫発生予報第10号」(令和8年3月11日(水)付け)を発表しました。

【消費・安全局 植物防疫課】

=====

農林水産省は、今後の農作物の病害虫発生動向や防除について「病害虫発生予報第10号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病害虫防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病害虫及び地域

- ・ 野菜・花きでは、いちごのハダニ類の発生が、東海及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹カメムシ類の発生が、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、トマトのコナジラミ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

○「令和7年度 病害虫発生予報第10号」の発表について(令和8年3月11日(水)付け農林水産省プレスリリース)はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/260311.html>

※ 都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

○ 都道府県の病害虫発生予察情報などはこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

++・…… 施策情報 ……・++

◆第37回全国そば優良生産表彰の受賞者が決定しました！

【農産局 地域作物課】

このたび、一般社団法人日本蕎麦協会主催の「令和7年度第37回全国そば優良生産表彰」の受賞者が決定しました。

農林水産大臣賞は、農事組合法人東大社（秋田県由利本荘市）が受賞、農林水産省農産局長賞は、ライジングファーム株式会社（茨城県小美玉市）が受賞し、この他の賞と合わせて計8件のそば生産農家・集団の各賞受賞が決定しました。

令和8年度の表彰に係る募集は、4月頃に案内される予定です。普及指導員の皆様におかれましては、優良生産農家・集団の積極的な推薦・応募にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。（募集が開始されましたら、本メルマガで配信予定です。）

▼受賞者の取組概要等の詳細はこちら

- 全国そば優良生産表彰事業の概要（（一社）日本蕎麦協会 HP：外部リンク）

[http://nihon-soba-](http://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html)

[kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html](http://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html)

- 第37回全国そば優良生産表彰式の受賞者の決定（（一社）日本蕎麦協会 HP：外部リンク）

[http://nihon-soba-](http://nihon-soba-kyokai.or.jp/uploads/1/2/3/9/123974412/2026prize.pdf)

[kyokai.or.jp/uploads/1/2/3/9/123974412/2026prize.pdf](http://nihon-soba-kyokai.or.jp/uploads/1/2/3/9/123974412/2026prize.pdf)

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 地域作物課

（担当：五十嵐、石川、永井）（03-6744-2115）

◆「雇用就農資金（令和8年度第1回目）」の募集を実施しています

【経営局 就農・女性課】

農林水産省は、50歳未満の就農希望者を新たに雇用して研修を行う農業法人や個人経営者に資金を交付する「雇用就農資金」の令和8年度第1回目募集を実施しています。

【助成額・期間】年間最大60万円（令和8年6月から4年間）

【募集期間】令和8年3月4日（水）～4月7日（火）

【申請先・相談窓口】都道府県農業会議等

普及指導員の皆様におかれましては、農業者の皆様への周知にご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（全国新規就農相談センターHP：外部リンク）

[https://www.be-farmer.jp/farmer/employment\\_fund/original/](https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/)

※お問合せ先

農林水産省 就農・女性課（雇用グループ）（03-6744-2160）

◆担い手向けに機械導入等を支援！！地域農業構造転換支援事業の要望調査実施中！！

【経営局 経営政策課】

本事業では、地域の中核となって農地を引受ける担い手の経営改善に必要な農業用機械・施設の導入を支援します。詳細はこちらをご参照ください。

[https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R7\\_chiiki\\_nougyou/251223.html](https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R7_chiiki_nougyou/251223.html)

▼主な事業要件

- ・補助率：3/10以内 補助上限額：個人1,500万円以内、法人3,000万円以内
- ・対象者：地域計画に位置付けられた担い手
- ・成果目標（以下のいずれか1つを認定）
  1. 経営面積の3割又は4ha以上の拡大
  2. 付加価値額1割以上の拡大
  3. 労働生産性3%以上の向上

普及指導員の皆様におかれましては、担い手の経営改善に向けた本事業の推進についてご協力のほどよろしく申し上げます。

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 経営政策課

担い手総合対策室（03-3502-6444）

◆「子実トウモロコシの生産・簡易なサイレージ調製貯蔵技術標準作業手順書（関東地方版）」を公開

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）は「子実トウモロコシの生産・簡易なサイレージ調製貯蔵技術標準作業手順書（関東地方版）」を2月16日にウェブサイトで公開しました。

本手順書では、関東地方における生産者や技術指導・普及に携わる方々を対象に、子実トウモロコシの有望品種や簡易な調製貯蔵方法など、生産技術の概要を導入手順や事例とともに分かりやすく解説しています。

普及指導員の皆様におかれましては、本手順書の活用をご検討いただき、現場でのご指導にお役立ていただけますと幸いです。

▼詳細はこちら

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nilgs/174448](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nilgs/174448)

[.html](#)

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：吉田、佐藤、高橋) (03-3502-7407)

=====

◆特集「ユーザーに選ばれるスマート農業技術」- 農研機構技報 -

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農研機構は、「ユーザーに選ばれるスマート農業技術」を特集した農研機構技報 第19号を刊行しました。

農研機構では、農業・食品分野での Society 5.0(サイバー空間とフィジカル空間の融合により経済的発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会)の実現を目指しています。

開発したスマート農業技術による「生産者の省力化や収益力向上」、「消費者への低価格・高品質な農産物の提供」、「企業や都道府県における販路・普及地域の拡大などへの貢献」について紹介します。

普及指導員の皆様におかれましては、本特集で紹介するスマート農業技術の現場での普及拡大に向けて、ご協力いただけますと幸いです。

▼詳細はこちら

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/naro/174277.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/naro/174277.html)

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：吉田、佐藤、高橋) (03-3502-7407)

=====

◆環境 DNA で特定外来生物アライグマを検出する新技術

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農研機構は、環境 DNA 分析を用いた特定外来生物アライグマの検出手法を開発しました。本手法は、アライグマの未定着地域での迅速な侵入確認や農作物等への加害種がアライグマであるか否かの迅速かつ低コストな判定に役立ちます。

これにより、アライグマの早期の捕獲やアライグマに適した被害対策の実施が可能となり、経済損失や生態系への影響軽減などへの貢献が期待できます。分析は、都道府県の公設試験場などで既存の分析機器で容易に行うことができますので、普及指導員の皆様におかれましては、本技術の現場での活用をご検討いただけますと幸いです。

▼詳細はこちら

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nilgs/174207.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nilgs/174207.html)

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：吉田、佐藤、高橋) (03-3502-7407)

=====

◆長期貯蔵が可能なポテトチップ用バレイショ新品種「しんせい」を開発

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農研機構は、ポテトチップ用のバレイショ新品種「しんせい」を開発しました。「しんせい」はバレイショの重要害虫であるジャガイモシストセンチュウに対する抵抗性を持ち、ポテトチップ加工適性が優れるとともに、収穫から翌年6月まで9ヶ月間貯蔵してもでん粉の糖化がゆるやかなためポテトチップの焦げにつながる糖が増えにくく、焦げの少ないポテトチップの製造が可能です。この特性により、国産原料が不足する2月から6月の期間におけるポテトチップ原料の安定供給への貢献が期待されます。2026年春から本格的な一般栽培が開始される予定です。

普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導にお役立ていただけますと幸いです。

▼詳細はこちら

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/harc/172383.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/harc/172383.html)

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：吉田、佐藤、高橋) (03-3502-7407)

=====

◆ダリア・エターニティシリーズに新品種登場

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農研機構は、優れた日持ち性と美しさで全国に普及が進む「良日持ち性ダリア・エターニティシリーズ」に、鮮やかな濃赤色でシリーズ初となるボール咲き品種「エターニティファイヤー」を追加し、バリエーションを拡大しました。種苗生産のための原種苗提供予約を開始し、新品種の全国的な普及を目指します。



[https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h\\_mailmag/index.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html)

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」

のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。